

平成25年度 札幌市医療安全推進協議会 第2回基幹会議 議事録(発言要旨)

項目	発言者	発言趣旨
(1) 市民相談の概要について	事務局 (石川職員)	資料1に基づいて説明
	今会長	この事例を持ち帰り、供覧しても良いか。
	事務局 (矢ヶ崎職員)	問題ない。
	南須原委員	歯科衛生士と歯科助手は区別がつくのか。
	中川副会長	私の診療所ではネームプレートに歯科衛生士・歯科助手と書いているが、つけていない診療所もあるため、区別がつかないこともある。 レントゲン撮影について、会員（歯科医師会）については厳しく指導している。
	高橋委員	歯科衛生士がカルテに記載しているという相談だったが、カルテではなく、問診票に記載しているということだったということによいか。
	事務局 (石川職員)	こちらで確認したところ、カルテではなく問診票であった。また、歯科医師がすぐ確認をしているという体制であった。
	五十嵐委員	その他に分類される事例にはどういったものがあるか。
	事務局 (石川職員)	院内暴力、医行為に該当するかどうか、医療政策や制度などに関することが挙げられる。
	五十嵐委員	相談の傾向の中にこういったものを落とし込んでどうか、検討してみては。
	事務局 (矢ヶ崎職員)	分類項目をどうするかなどについて、議論いただく場を検討したい。
(2) 医療安全講習会の実施結果について	事務局 (矢ヶ崎職員)	資料2に基づいて説明
	今会長	医療安全講習会の対象は。
	事務局 (矢ヶ崎職員)	全ての病院、診療所としている。
	苗代委員	「医療事故分析の技法」に関して、院内調査委員会の方法などについての講演をしてはどうか。
	今会長	法案が出ており、全ての医療機関に院内調査委員会を設置するということになりそうであるので、良いのではないか。
事務局 (矢ヶ崎職員)	講師にもよると思うが、検討させていただきたい。	

(3) 院内感染対策セミナーの実施結果について	事務局 (矢ヶ崎係長)	資料3に基づいて説明
	小山田委員	診療所や老健施設ではノロウイルスなどの対応に困っている。これらの施設を対象としたセミナーをやってみてはどうか。
	今会長	来年度もぜひやっていただき、対象も広げていただきたい。
	中山委員	介護施設、老人ホームなどの衛生面について、どのように指導しているのか。
	小山田委員	そういった施設では看護師がいるが、予算の問題もあるようで、研修を受ける機会もないようであると聞いている。 広く広報し、こういった方たちにも来ていただけると良い。
	今会長	市の方も広報を広げていただきたい。
(4) さっぽろ医療ガイドについて	事務局 (矢ヶ崎係長)	資料4に基づいて説明
	南須原委員	きれいでわかりやすいと思うが、5,000部しか作らないのか
	事務局 (矢ヶ崎係長)	予算の関係もあるため、5,000部とさせていただいた。反響があれば、改訂に合わせて増刷などを考えてい。
	南須原委員	保健所に置くだけか。
	事務局 (矢ヶ崎係長)	配布先については確定していないが、各区役所などにも配布する。
	中田委員	これはWebでは載せないのか。
	事務局 (矢ヶ崎係長)	ホームページで公開させていただく。
	中田委員	ファイルを項目ごとに分割し、リンク先に飛んでいけるようにすれば、活用できると思う。
	今会長	セルフトライアージについてはどうか。
事務局 (矢ヶ崎係長)	ホームページを見るよう、案内している。	
(5) その他	事務局 (矢ヶ崎係長)	委員の任期は平成26年3月31日までとなっている。2年間、協力いただき、感謝申し上げます。